

# ⑨月定例会 平成21年度決算を認認定 一般会計補正予算など13議案可決



市長の提案理由説明

## 第49号議案 決算

審議した議案のおもなものは次のとおりです。

- 白石市民バス条例の一部を改正する条例
- 株式会社ミヤコーバスで運行している路線バス「七ヶ宿線」が、平成22年9月30日を

平成22年9月定例会は、9月2日から9月17日までの16日間の日程で開催されました。市長提出議案は、平成21年度白石市各会計歳入歳出決算の認定1件、人事1件、条例等6件、平成22年度各会計補正予算7件など計15件でした。また、議員提出議案として、電子投票を一時休止する条例が提出されました。このうち、人事案件1議案については、委員会付託を省略し表決の結果、全会一致で初日に同意しました。決算を初めとする各議案については、決算審査特別委員会、所管の各常任委員会、予算審査特別委員会にそれぞれ付託して審査を行いました。定例会最終日の本会議において各委員長報告を行った後、第49号議案及び議提第5号については、反対、賛成の討論ののち賛成多数で認定、可決し、その他の議案については、いずれも原案のとおり可決しました。一般質問では10名の議員が質問に立ち、当局の考え方を質しました。

## 条例

### 第51号議案

- 平成21年度白石市各会計歳入歳出決算の認定について
- 一般会計ほか特別会計・企業会計について歳入歳出残額は翌年度へ繰り越す財源3千312万336円を差し引き8億662万2千647円となりました。  
(詳細は4ページの歳入歳出決算状況と、12ページの討論をご覧下さい。)

- 白石市民バス条例の一部を改正する条例
- 株式会社ミヤコーバスで運行している路線バス「七ヶ宿線」が、平成22年9月30日を

1千200万円

## 第56号議案 予算

### 第55号議案

- もって廃止となることから、市民バス「小原線」を新設して小原地区住民の交通機関を確保するため、条例の一部を改正するものです。

- 平成22年度白石市一般会計補正予算(第3号)
- これまでの歳入歳出予算にそれれ9億5千148万6千円を追加し、予算の総額を14億5千843万1千円とするもので

す。

おもな内容は次のとおりです。

- 市民バス(小原線)運行管理事業料

## 9月定例会で審議した議案

議案番号	件名	同定意	審議結果	議案内容														
				第49号	第48号	第50号	第51号	第52号	第53号	第54号	第55号	第56号	第57号	第58号	第59号	第60号	第5号	
市長提案案	教育委員会委員の任命について	て	原案可決	平成21年度白石市各会計歳入歳出決算の認定について	公の施設(七ヶ宿町町営バス)の区域外設置に関する協議について	白石市民バス条例の一部を改正する条例	白石市小十郎プラザ条例の一部を改正する条例	白石市地方卸売市場条例を廃止する条例	あしたば白石条例	宮城県公立高等学校の定時制課程に在学する者に対する奨学金支給条例を廃止する条例	平成22年度白石市一般会計補正予算(第3号)	平成22年度白石市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	平成22年度白石市地方卸売市場事業特別会計補正予算(第1号)	平成22年度白石市老人保健特別会計補正予算(第1号)	平成22年度白石市介護保険特別会計補正予算(第2号)	平成22年度白石市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	平成22年度白石市水道事業会計補正予算(第1号)	白石市議会の議員及び白石市長の選挙における電磁式投票機による投票に関する条例の一部を改正する条例
原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	
原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	